

平成 29 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「奈良大会」

定時総会並びに研究発表会「奈良大会」実行委員会

平成 29 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会を、下記の要領で開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。

なお「砂防学会研究発表会」は、CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます。（CPD に関する問合せ先：砂防学会事務局 TEL：03-3222-0747）

I. 平成 29 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「奈良大会」実施要領

1. 期 日 平成 29 年 5 月 24 日(水)～26 日(金)
2. 会 場 奈良春日野国際フォーラム 薨 I・RA・KA
(〒630-8212 奈良県奈良市春日野町 101 TEL：0742-27-2630)
3. 日 程 下記日程表のとおり（※予定であり今後変更することがあります）

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
5 月 24 日(水)		受付	研究発表会			昼食	特別講演	企画セッション	定時総会	コアタイム	休憩	意見交換会		
						ポスターセッション・企業展示・行政展示								
5 月 25 日(木)			研究発表会	昼食	コアタイム	研究発表会								
			ポスターセッション・企業展示・行政展示											
5 月 26 日(金)	現地見学会（2 コースから選択）													

4. 特別講演（一般公開）

講師：更谷 慈禧 氏（奈良県十津川村長）
演題につきましては、「砂防学会誌」第 69 巻 6 号でご案内いたします。

5. 企画セッション（一般公開）

企画セッションは、「深層崩壊・天然ダム対策の課題と方向性」（仮題）というテーマで意見交換を行います。

6. 現地研修会

- A コース（奈良県五條市方面：赤谷河道閉塞箇所 他 1 日コース） 定員約 50 名程度
B コース（大阪方面：亀の瀬地すべり対策事業 半日コース） 定員約 50 名程度

7. 申込方法と参加費

研究発表会、現地研修会、意見交換会等の参加申込みにつきましては、学会ホームページの参加申込受付システム（WEB 申込）により行います。概要集掲載原稿の

投稿を行った方も必ず参加申込みを行って下さい。詳細は VI. をご覧下さい。なお、「奈良大会」では、会場に託児施設は用意いたしません。<http://www.takunavi.tv/takujisho/nara/nara.html> の奈良市の託児所、一時預かりサービスのある保育園を参考として下さい。また、宿泊についても各自でご手配をお願いします。

WEB 申込期間（3 月 21 日(火)(予定)～5 月 15 日(月)）

参加費（前納の場合）

- ・研究発表会参加費
 - ・一般会員 7,000 円
 - ・一般非会員 10,000 円
 - ・学生会員 3,500 円
 - ・学生非会員 5,000 円
- ・意見交換会費 6,000 円
- ・現地研修会費
 - A コース 6,000 円
(昼食代 1,000 円を含む)
 - B コース 4,000 円

注：参加費は全額前納して下さい。なお、入金後に

取消し等の返金はいたしません。

当日参加申込受付の場合

当日の参加申込みの受付は学会デスクにて研究発表会及び意見交換会の参加のみ受け付けます。

当日料金

- ・研究発表会参加費
 - ・一般会員 10,000 円
 - ・一般非会員 13,000 円
 - ・学生会員 5,000 円
 - ・学生非会員 6,500 円
- ・意見交換会費 7,000 円

8. 「奈良大会」実行委員会

- 委員長 小杉賢一郎 京都大学大学院農学研究科教授
委員 藤田 正治 砂防学会関西支部長(京都大学防災研究所教授)
委員 中谷 加奈 京都大学大学院農学研究科助教
委員 藤本 将光 立命館大学理工学部都市システム工学科助教
委員 菅 良一 国土交通省近畿地方整備局河川部河川計画課長
委員 石井 康彦 林野庁近畿中国森林管理局計画保全部治山課長

- 委員 城ヶ崎正人 奈良県県土マネジメント部砂防・災害対策課長
委員 伊賀 正彦 奈良県農林部森林整備課長
委員 井川 忠 (一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部
(㈱オリエンタルコンサルタンツ関西支店保全技術部担当次長)
委員 手塚 明宏 (公社)奈良県測量設計業協会(天地球研代表取締役)
委員 宮川 繁雄 奈良県建設コンサルタント業協会
(トップ技術コンサルタント(株)代表取締役)
委員 西川 友章 (公社)砂防学会関西支部副幹事長(国際航業(株)技
術本部防災部西日本グループ調査チームリーダー)
委員 杉浦 信男 (公社)砂防学会事務局長

9. 問い合わせ先

平成 29 年度 (公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「奈良大会」実行委員会事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

砂防会館別館 A 棟 3 階

(公社)砂防学会事務局(担当 杉浦, 大久保)

TEL: 03-3222-0747 FAX: 03-3230-6759

II. 平成 29 年度砂防学会研究発表会要領

1. 発表セッション

発表方法は、口頭発表とポスター発表です。会場の関係で口頭発表を希望されていても、ポスター発表に変更をお願いする場合があります。口頭発表セッションでは、一般セッションとテーマ別セッションを設けます。テーマ別セッションは下記の 3 テーマです。

テーマ別セッション

(1) 直下型地震による土砂災害の特徴と対応

コーディネーター：藤本将光(立命館大学)

平成 28 年 4 月に熊本県熊本地方を中心として、最大震度 7 が観測された 2 回の地震を含む、多くの地震が発生しました。一連の地震により、多くの土砂災害が発生し、多数の方の命が奪われました。近年は、熊本地震の他に、平成 16 年の新潟県中越地震、平成 18 年の岩手・宮城内陸地震、平成 23 年の福島県浜通り地震(東北地方太平洋沖地震の余震)等の複数の直下型地震が発生し土砂災害により甚大な人的被害をもたらされています。

本セッションでは、近年の直下型地震に関する事例を踏まえつつ、誘因となる地震動と土砂災害の発生条件の関連性、土砂移動の特徴、被害を軽減・防止するためのソフト・ハード対策について整理するとともに、課題や今後の方向性について議論します。

(2) 三次元データの取得および活用技術の現状と課題、今後の方向性について

コーディネーター：宮田秀介(京都大学)

我が国の人口は 2010 年をピークに減少傾向にあり、少子高齢化および労働力人口の減少傾向も急速に進みつ

つあります。このような状況の中、2016 年に国土交通省が発表した i-Construction では、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理、更新にいたる建設生産プロセスにおいて生産性を向上させるため、三次元データの活用が位置づけられています。

本セッションでは、砂防領域における三次元データの取得技術およびデータ活用技術の現状と課題、今後の方向性について議論します。

(3) 伊豆大島の土砂災害とその後の復興(関東支部セッション)

コーディネーター：石川芳治(東京農工大学)

平成 25 年 10 月 16 日伊豆大島三原山の外輪山の西部にある大金沢上流部で発生した崩壊は、大規模な土石流・流木となって下流を襲い、大きな被害をもたらしました。本土砂災害は、火山地域における土砂移動・流木現象の解明、警戒避難体制のあり方など、大きな課題を投げかけました。災害から 3 年余が経過し、土砂移動・流木現象の実態解明が進むとともに、土砂災害からの復興も進み、今後の災害対応を検討するためにも重要な成果が得られています。

本セッションでは、伊豆大島大金沢における土砂災害に関する研究を横断的に議論します。

2. 発表者の資格

発表者は、発表申込時点および研究発表時点において砂防学会の個人の正会員か学生会員に限り(グループでの発表の場合は、発表者が会員であることが必要です)。なお、発表者とは、口頭発表の場合は実際に会場

において口頭で発表するもの(1名)を指し、ポスター発表では、コアタイムに実際に説明する者(代表者1名)を指します。原則として、発表者としての件数は口頭発表もしくはポスター発表のどちらか一件とします(なお発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません)。テーマ別セッションについても、一般口頭発表・ポスター発表と同様に、重複制限がかかるものとします。

3. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり、地震や噴火に起因した土砂流出等の土砂災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林が土砂流出に与える影響、土砂災害減災と生態系保全、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限ります。

4. 発表方法

口頭発表は、パソコン接続のプロジェクターのみで行います。発表者はUSBメモリーにファイルを格納して持参して下さい。パソコンのOSはWindows 7、ソフトはPower Point 2013を予定しています。詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会/シンポジウム」の「平成29年度研究発表会(奈良)」(<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>)に掲載します。発表前にパソコン等で動作確認を行うようお願いいたします。

5. 発表申し込み

本大会の発表申し込みは、すべて(テーマ別セッションも含む)原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。原稿投稿システムには、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会/シンポジウム」の「平成29年度研究発表会(奈良)」(<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>)からアクセスできます。電子メールやはがきによる申し込みは受け付けませんので、ご注意下さい。

発表申し込みの締切りは、すべて平成29年2月10日(金)とさせていただきます。

6. 概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿もすべて(テーマ別セッションも含む)原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。下記の下記の原稿作成要領に従って原稿を作成し、PDF形式(2MB以下)に変換して投稿して下さい。

提出期限は、平成29年4月7日(金)24時(厳守)です。提出期限以降は受け付けられませんので、期限厳守をお願いいたします。なお、投稿を行っても参加申し込みにはなりません。参加申し込みは別途行って下さい。

7. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院農学研究科森林科学専攻山地保全学分野
中谷加奈
Tel: 075-753-6087 Fax: 075-753-6088
E-mail: kana2151@kais.kyoto-u.ac.jp

Ⅲ. 砂防学会研究発表会概要集掲載原稿作成要領

本大会では概要集の印刷は行いません。提出されたPDFファイルの原稿にページを付した後、砂防学会ウェブサイトに掲載します。以下の諸点に留意の上、鮮明な原稿の提出をお願いします。

1. 原稿書体

原稿は原則としてMSワード等のワープロソフトで作成して下さい。

2. 原稿用紙および文字のサイズ

用紙サイズはA4とし、上15mm、下25mm、左20mm、右20mmを確保して下さい。

1行の文字数および1ページの行数は自由とします。ただし、文字のサイズは10ポイント以上とします。

3. 原稿枚数

2枚とします。1枚あるいは3枚以上は受け付けません。

4. 題名および氏名

題名は第1行目の中央に書き、1行あけて所属、発表者名(連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける)を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。

1行あけて本文を書き始めて下さい。

5. 使用する文字

使用する文字や仮名遣いは、原則として「常用漢字表」「現代仮名遣い」に従って下さい。

6. 改行

改行した場合の次の行は、必ず1字あけて書き始めて下さい。

7. 文字の割付

句読点、()、:、引用記号および1桁アラビア数字には1マスをあて、アルファベットおよび2桁以上のアラビア数字には2字で1マスをあてて下さい。

8. 見出し番号

本文の章、節等には次の記号を使用して下さい。

章 1, 2, 3

節 1.1, 1.2, 1.3

節以下 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3

9. 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後にあげて下さい。

10. 図表・写真

図表・写真はすべてクリアにし、原則として本文の間の所定の位置に挿入して下さい。左右に余白ができたときは、その部分にも本文を記入して下さい。カラーの図および写真を使用しても構いません。

11. 原稿のPDF化と取り扱い

完成した原稿は、PDF化ソフト（例えば、Adobe社 Acrobat等）を用いてPDFファイル（2MB以下）にしてください。原稿にはページ番号を入れないで下さい。なお、PDF化された原稿からそのまま概要集を作成しますので、不鮮明なものについては再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

12. 原稿作成要領に関する問い合わせ先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院農学研究科森林科学専攻山地保全学分野

中谷加奈

Tel: 075-753-6087 Fax: 075-753-6088

E-mail: kana.2151@kais.kyoto-u.ac.jp

IV. ポスターセッション展示

ポスター発表1件あたりのポスター掲示範囲の大きさは、幅120cm、高さ180cmを予定しています。詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発

表会/シンポジウム」の「平成29年度研究発表会（奈良）」(<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>)に掲載します。

V. 現地研修会

●Aコース

（奈良県五條市方面：赤谷河道閉塞箇所 他 1日コース）定員約50名程度

●Bコース

（大阪方面：亀の瀬地すべり対策事業 半日コース）定員約50名程度

の2コースがあります。この機会にぜひご参加下さい。

なお、申込状況により中止する場合がありますのであらかじめご了承下さい。

詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会/シンポジウム」の「平成29年度研究発表会（奈良）」(<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>)に掲載します。

VI. 平成29年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会 参加申し込みのご案内

1. 参加申し込み

参加・現地研修会・意見交換会等のお申し込みは、砂防学会ホームページから行って下さい（WEB申し込み）。WEB申し込みページの入力フォーマットに従って直接入力して下さい。団体の場合も、WEB申し込みして下さい。見積書、請求書はホームページから出力できるようにいたします。事務処理作業の軽減のため、クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振込をご利用下さい（やむを得ない理由がある場合に限り、当日現金での支払い、後払いも受け付けます。この場合、I.7に記載した当日料金となります）。

領収書は学会にて入金を確認した後にホームページから出力できるようにいたします。

受付期間は平成29年3月21日（火）（予定）から平成29年5月15日（月）までで、コンビニ決済ならびに銀行振込の入金期限は5月19日（金）です。

2. 申込締切日

平成29年5月15日（月）

3. 申し込み後の変更・取り消しについて

申し込み後に変更・取り消しが生じた場合は、学会事務局までご連絡下さい。

参加費・意見交換会費・現地研修会費等は、入金後は返納しませんのでその旨ご了解下さい。

4. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については、連絡のために利用させていただき、他、申し込みいただいた「平成29年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会」の円滑な運営のために必要な範囲内で利用します。

【申し込み・入金】

申し込みのステップ	内 容
①砂防学会 ホームページ	http://www.jsece.or.jp/indexj.html 「平成 29 年度総会並びに研究発表会奈良大会」のページに、申込専用ページへのリンクが掲載されます。
②お申込み	入力フォーマットに従って直接入力して下さい。 ※送信後、自動返信で受け付け確認が送信されます。
③見積書・請求書	参加費・意見交換会費・現地研修会費の見積書および請求書はホームページから出力できます。
④参加費・意見交換 会費・現地研修会費 のお支払い	クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振込をご利用下さい。銀行振込をされる場合は振込手数料は申込者負担となります。
⑤領収書および参加 票	学会が入金を確認しましたら、ホームページから領収書および参加票（研究発表会、意見交換会、現地研修会）が出力できます。出力いただきました参加票は当日受付にご提示下さい。
⑥変更・取り消し	学会事務局まで連絡して下さい。 TEL：03-3222-0747 受付時間：月～金 10：00～17：00 ※入金後の返納不可

参加申込期間は平成 29 年 3 月 21 日(火)(予定)～平成 29 年 5 月 15 日(月)です

◆お問い合わせ先

「平成 29 年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会」事務局
 住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 A 棟 3 階
 公益社団法人 砂防学会 事務局
 TEL 03-3222-0747 受付時間：月～金 10：00～17：00
 FAX 03-3230-6759
 ホームページ <http://www.jsece.or.jp/indexj.html>
 E-mail: sabou@js5.so-net.ne.jp